

平成

31年度

授業概要

科目名	呼吸発声発語系の構造・機能・病態					授業の種類	演習	必修・選択		必修	
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	通年
【授業の目的・ねらい】 呼吸発声発語の構造や、どのように呼吸や発声発語を行うのか理解する。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚療法を行うために必要な呼吸器系および発声発語器官の構造と機能について習得し、それらの病態と疾患を理解できる。臨床と国家試験に即した基礎的知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 呼吸発声発語をどのように行うのか説明できる。国家試験に対応した問題を解くことができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	発声の仕組みについて理解できる										
2	喉頭の器官について理解できる①										
3	喉頭の器官について理解できる②										
4	呼吸器の構造と機能について説明できる										
5	呼吸器系の疾患を理解できる										
6	発声発語系に関する疾患を理解できる										
7	音声障害と喉頭病変について説明できる										
8	声の異常、症状について説明できる										
9	評価について説明できる										
10	声の衛生指導について説明できる										
11	音声訓練について理解できる										
12	気管切開について理解できる										
13	口腔の器官について説明できる										
14	構音障害について理解できる										
15	総合的に理解できる										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第2版 医学書院											
【準備学習・時間外学習】 授業で行う内容の予習・復習をおこなってください。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テストを20点、定期試験を80点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											